



地域づくりだより

協議会では、暮らしやすい町を作るために地域の皆さんが集まって、「住みよい寿」について考えています。

「寿・地域づくりを語る会」で今年度を締める

寿地区地域づくり協議会では3月6日、今年度の活動のまとめとして「寿・地域づくりを語る会」を開いた。3部会とプロジェクトチームの活動紹介のあと第2部で防災・減災の観点から地域づくりを考える講演会を開催し、専門部会員約60名が耳を傾けた。

第1部 活動内容紹介



語る会で挨拶をする
百瀬 泰雄 会長

「語る会」は平成27年度に「寿地区地域づくり協議会」が設立された年に開催された第1回を機に、以降コロナ禍の3年間を除き毎年開催されてきた。



前夜の降雪で足元の悪い中約60名が一堂に会して開催された語る会

今年度で8回目を迎える。

前夜の降雪で足元の悪い中、部会員約60名が1年間の活動内容の発表に耳を傾けた。

多くの部会が今年度の活動を次年度も継続し成果を追求する方針を示し、参加者は情報の共有を図った。

プロジェクトチームからは、主要2事業の状況報告(裏面)と合わせて、12月15日に行った視察研修の報告などがあつた。

第2部 講演会

「災害時に生きる力」

第2部では、元旦に発生した能登半島地震を踏まえ、「災害時に生きる力」事前の準備と日頃の助け合い。をテーマに、市社協・西部地区センター中村ひとみ課長と、寿地区担当の百瀬光輝さんの講演を聴いた。



休憩時間に福祉ひろばの山内智恵さんの指導で体をほぐす参加者



視察研修で買物支援に取り組む下諏訪町の御田町(みたまち)商店街を訪問した



講演会では過去の災害時の教訓から「近助」の重要性や、社協の勤める「ささえあいマップ」について学んだ

6年間ご苦労様でした

百瀬康雄館長が退職挨拶



今年度末での退任挨拶をする寿公民館
百瀬 康雄 館長

寿公民館の百瀬康雄館長が今年度末で退職する。平成30年から6年間にわたり寿地区のためにご尽力いただいた。語る会の最後に、在職中の思い出などを含めて退任の挨拶があつた。

ニュース21号

令和6年1月1日
能登半島地震発生
M 7.6 (最大震度7)

令和6年2月1日
県総人口200万人割る
昭和48年以来半世紀ぶり

協議会からのお願い

◎地域づくり協議会の活動に参加しませんか？

これからの「寿」について一緒に考えましょう！

連絡先：☎58-2038

寿地区地域づくりセンター

各部署の活動状況

ここでは2月7日に行われた第4回専門部会の内容を中心に、語る会で発表された各部会の活動内容を紹介します。

総務部会

総務部会では、第4回で今年度の纏めと今後取り組みが必要な課題について話し合い、次年度も、防災・減災についての活動を継続する方針としたことなどの紹介があった。

住民向け広報資料作成は次年度に持ち越す。

また、元日に発生した「能登半島地震で思う事」なども出し合い今後の活動の優先順位付けなどの参考にしている。



第4回専門部会で「能登半島地震で思う事」などを話し合った総務部会の様子

福祉部会



福祉部会の第4回専門部会グループワークの様子

福祉部会では、第3回で出し合った「見学した施設の感想」を部会員が共有したあと、「来年度部会でやってみたいこと」などを話し合った。

施設見学や学習会等「知り合い、学び合う場づくり」については継続して開催することとした。今後、開催方法などに工夫を重ね地域住民も参加できる「学びの場」の提供を模索していく。

また、今年度作成した「寿地区わたしたちの暮らし・あんしん情報」の活用・PRを目指す。



子ども部会

子ども部会の第4回では「性教育の基本のキ」と題した講演会を開催した。

部会員で、県性暴力被害者支援センター現地支援員や保健師、看護師などのほか多くの資格を持ち、現役の子育て世代である坂口奈さんが講演した。

講演会はオンライン配信を行い3カ所に分かれたグループで受講したことなどが紹介された。

参加者からは「今の世代の性教育について知識が深まった。今後の活動の参考にしたい」との声が聞かれた。



講演会では実例や参考書籍の紹介などもあり、参加者は今後の活動に活かす。

プロジェクトチームの活動



プロジェクトチームの活動紹介をする 久保田 幸康 さん

プロジェクトチームの活動では、「ことぶきサポート」と「のーと松本」などの取り組み状況が紹介された。

「ことぶきサポート」では、住民の意識向上のためのPRに努める。また事業拡大のため、利用会員と協力会員の募集を継続する。

来年度が交付期限の地域自治支援交付金については終了後の対応も検討していく。

R5年度 ことぶきサポート町会別登録人数・活動実績

町会	協力会員 R6.1.31現在			計	利用会員 R6.1.31現在
	一般	中学生	高校生		
赤木	2			2	1
小池	4	3		7	3
百瀬	6	1	1	8	8
白川	4	1	1	6	6
白姫	1			1	5
上瀬黒	4			4	1
下瀬黒	4			4	3
竹淵				0	7
豊町	1			1	3
寿田町	2			2	2
竹原町				0	
寿田川	3			3	1
地区外	1			1	
合計	32	5	2	39	40

活動実績 (4月1日~1月31日)	
ゴミ出し	494
草取り	22
雪かき	0

「のーと」実証運行期間延長

「のーと松本」は、昨年10月から実施している実証運行期間を当初の3月末から6月末まで延長することが決まった。

現状では乗車実績が1日約30人と少なく継続が危ぶまれるため、今後さらなる周知活動や乗車体験会などで利用増を図る。

1日50人の目標を達成し、7月以降の本格稼働を目指す。

「ことぶきサポート」の事例紹介

岡田地区福祉ひろばが、2月10日開催した「岡田地区福祉を語る集い」に、ことぶきサポート推進協議会会長ら4人が講師として招かれ「ことぶきサポート」の事例紹介などを行った。

同地区は「おかだお気軽お助け隊」の立上げを目指している。



「第26回 岡田地区福祉を語る集い」に招かれ、ことぶきサポートの事例紹介などを行った